



# リリースノート

## TRIMBLE ACCESS™ソフトウェア

バージョン 2014.00  
改訂 A  
2014年2月



## Legal Information

Trimble Navigation Limited  
Engineering Construction Group  
935 Stewart Drive  
Sunnyvale, California 94085  
U.S.A.  
[www.trimble.com](http://www.trimble.com)

### Copyright and Trademarks

© 2009–2014 年, Trimble Navigation Limited. All rights reserved.

Trimble, the Globe and Triangle logo, Autolock, GPS Pathfinder, Terramodel, and TSC2 are trademarks of Trimble Navigation Limited, registered in the United States and in other countries.

Access, CenterPoint, GX, Link, RTX, Trimble Geomatics Office, Trimble Survey Controller, Trimble Total Control, TRIMMARK, VISION, VRS, VX and xFill are trademarks of Trimble Navigation Limited.

RealWorks is a registered trademark of Mensi SA.

Microsoft, ActiveSync, Windows, Windows Mobile, and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Trimble Navigation Limited is under license.

All other trademarks are the property of their respective owners.

This document is for informational purposes only. Trimble makes no warranties, expressed or implied, in this document.

# 目次

Trimble Access ソフトウェア バージョン 2014.00 .....	4
一般測量 .....	6
道路 .....	14
トンネル .....	16
採掘鉞 .....	17
モニター中 .....	17
Trimble Access Installation Manager .....	18
ソフトウェアとハードウェアの必要条件 .....	18

# Trimble Access ソフトウェア バージョン 2014.00

このリリースノートでは、Trimble® Access™ ソフトウェア バージョン 2014.00についての情報をお知らせします。

Trimble Accessソフトウェアはフィールドで使用する測量ツールの数々や、オフィスおよびフィールド向けのウェブ基盤のサービスを提供します。これらのプログラムは、お買い求めになったパーツによって、コントローラ、オフィスコンピュータ、またはTrimbleがホストするサーバなどにインストールされています。

## コントローラのソフトウェアとライセンスのインストール

### オペレーティングシステムのインストール

新しいTrimble Tabletにはオペレーティングシステムはインストールされていません。Tabletを起動してWindows®オペレーティングシステムをインストールし、Windowsの更新を適用します。

他の全ての新しいコントローラには、オペレーティングシステムはすでにインストールされています。

### ソフトウェアとライセンスの設定

コントローラをご使用になる前に、Trimble Access インストールマネージャーを使用して、アプリケーションとライセンスをインストールしてください。もし今までに:

- Trimble Access インストールマネージャーをインストールしたことがない場合は、[www.trimble.com/taim](http://www.trimble.com/taim) からインストール情報を得てください。
- Trimble Access インストールマネージャーをインストールしたことがある場合は、自動的に更新しますので、再インストールの必要はありません。開始 / 全プログラム / Trimble Access インストールマネージャーの中から選択し、インストールマネージャーを始動してください。

ソフトウェアおよびライセンスファイルのインストールおよび更新についての詳細はTrimble Access インストールマネージャーのヘルプファイルを参照してください。

メモ - Trimble CU コントローラでは、Trimble Access バージョン 2013.00 またはそれ以降を、Trimble CU モデル3 (S/N 950xxxx) のみにインストールすることができます。Trimble CU モデル1と2には、Trimble Access以降をサポートするのに十分なメモリがありません。

### バージョンの使用条件

Trimble Access ソフトウェア バージョン 2014.00をインストールして起動するには、12月 2014で有効な保証契約が必要です。

Trimble Access インストールマネージャーを使用してバージョン 2014.00 をアップグレードする時、新しいライセンスファイルがデバイスにダウンロードされます。

## オフィスソフトウェアの更新

バージョン 2014.00に更新した場合、オフィスソフトウェアも更新しなければなりません。この更新はTrimble Business CentreソフトウェアなどのTrimbleオフィスソフトウェアに一般測量ジョブをインポートする場合に必要です。

Trimble Access Installation Managerを使用してコントローラを更新する場合、Trimble Access Installation Manager がインストールされているコンピュータのオフィスソフトウェアも同時に更新されます。更新に使用されなかった他のコンピュータを更新するには、以下のいずれかを行います：

- Trimble Access Installation Manager をそれぞれのコンピュータにインストールし、Office Updatesを起動します。
- Trimble Access ソフトウェアのソフトウェアのTrimble Update Office Softwareパッケージを [www.trimble.com/support\\_trl.aspx?Nav=Collection-84862](http://www.trimble.com/support_trl.aspx?Nav=Collection-84862)から起動します。
- Trimbleデータ転送ユーティリティを使用します：
  - バージョン1.51以降をインストールして下さい。データ転送ユーティリティは [www.trimble.com/datatransfer.shtml](http://www.trimble.com/datatransfer.shtml)からインストールすることができます。
  - バージョン 1.51をお持ちの場合は、データ転送ユーティリティの新しいバージョンを更新する必要はありません。Trimble Update Office Softwareパッケージのどれかを [www.trimble.com/support\\_trl.asp?Nav=Collection-84862](http://www.trimble.com/support_trl.asp?Nav=Collection-84862)から起動することができます。
- Trimble Business Centerソフトウェアを最新のバージョンに更新する必要があるだけでしたら、オフィスのソフトウェアを更新するのに Trimble Access Installation Manager を起動する必要はありません。必要なコンバータは現在 Trimble Accessソフトウェアを起動しているコントローラで入手でき、必要でしたら、Trimble Business Centerソフトウェアでコントローラからコンピュータへコピーすることができます。

## Trimble Solution Improvement Program

Trimble Solution Improvement Programは、Trimbleのプログラムがいかに使われ、どのような問題が発生する可能性があるかなどの情報を収集しますTrimbleは、この情報をもとに、最も頻繁に使用される製品や機能の向上に役立て、問題解決のお手伝いをし、お客様のニーズにお応えします参加は任意で強制ではありません。

参加を選択すると、ソフトウェアがお手持ちのコンピュータにインストールされますそのコンピュータに、Microsoft ActiveSync® 技術やWindows Mobile® Device Centerを利用してコントローラを接続するたびに、Trimble Accessソフトウェア がログファイルを生成し、自動的にTrimbleサーバへ送ります。このログファイルには、Trimble機器の用途、特定の地理的地域内でよく使用されるソフトウェア機能、問題が発生する頻度などのデータが含まれており、Trimbleが製品の修正に役立たせて頂きます。

Trimble Solution Improvement ProgramはいつでもアンインストールすることができますTrimble Solution Improvement Programの参加中止をご希望の場合は、コンピュータのプログラムの追加と削除メニューからソフトウェアの削除を行なうことができます。

## ヘルプと資料に関して

Trimble Access Help は、「文脈対応」ヘルプです。「文脈対応」ヘルプにアクセスするには、画面上部の ? をタップして下さい。

ヘルプ項目のリストが表示されます。関連項目は反転表示されています。見たい項目を開くには、その項目名をタップします。

ヘルプのPDFファイルをダウンロードするには、<http://help.trimbleaccess.com>へアクセスして下さい。アプリケーションごとに異なるPDFファイルがあります。

## 一般測量

### 新しいハードウェア

#### Trimble V10イメージングローバー

Trimble V10イメージングローバーは360° のデジタルパノラマ写真を正確に撮影することができる内蔵カメラシステムです。周辺環境を視覚的に記録したり、計測したりすることができます。

Trimble Accessフィールドソフトウェアは、V10をTrimble R10 GNSS受信機とTrimble VX Spatial Stationに、またはTrimble Sシリーズトータルステーション測位センサーにシームレスに統合します。パノラマは、観測されたポイントの測量の前後にもスタンドアロンで撮影することも可能です。

撮影されたフィールドデータはTrimble Business Centerで処理され、画像の中の認識可能な特徴から測量レベルの位置情報を提供することができます。

V10には、チルト&モーション両センサーが内蔵されています。パノラマをキャプチャする前に、eBubbleの表示を使い、V10がチルト許容範囲内にあることを確認します。

V10は、Trimble Tabletコントローラのほか、非Trimble Windows®コンピュータのうちサポートされている製品で使用できます。

### 新しい特長

#### 測定コードのための設定可能なボタンレイアウト

測定コードは、割り当て済みコードのあるポイントの測定を効率化します。ポイントを測定し、コードを設定するには、該当する割り当て済みコードの付いたボタンをタップします。別のコードで別のポイントを測定するには、該当するコードボタンをタップするだけです。Using the Template pickup option makes it simple to measure patterns of codes, for example across a road cross section. テンプレートピックアップは、設定済みコードの間を自動的に進む機能で、次のコードがあらかじめ設定され、測定の準備が整っていることを確認します。

測定コードは、以前は3x3 9-ボタンレイアウトのみサポートしていましたが、今回、1ページ当たり最高25ボタンで、3x3と5x5の間ならば、どんな測定コードの画面ボタンレイアウトも使用できるようになりました。

3x3レイアウトを使用する際、TSC3キーボード上の数字ボタンが、測定コード画面内のボタンにマッピングされるため、キーボードから直接、素早いコーディングと測量を行えます。ページやコードグループの最大数は26です。コードグループは、キーボードからもアクセスできます。マッピングには、「グループ1はAに」「グループ2はBに」といった規則性があります。

## コントローラコンパスの杭打ち性能の向上

Trimble Accessは、杭打ち時のナビゲーションのコントローラコンパス使用に関し、一層スマートになっています。杭打ちを開始する際、初めにコンパスが使用されるようになりました。その理由は、通常はユーザはこの時点で移動しておらず、かつ基本的に同じ方向にある多くのポジションと比較し、より良い方位情報が得られるためです。

GNSSまたはロボティック測量においては、ユーザが動き始める際に、座標のほうが、コンパスよりも良い進行方向を提供します。従ってこれらは、方位を優先する目的で使用されます。杭打ちポイントに近づいていき、「標的」画面が杭打ち最中に表示された時点で、コンパスを再度使用して方位を示します。

旧バージョンのTrimble Accessでは、コンパスが有効になっている場合、杭打ちの最中は常にこれを使用して方向を示していました。ほぼ静止状態にあるときは、これは良い進行方向の情報源でしたが、コントローラコンパスの精度の低さが原因で、移動中に提供される方位は、GNSSやロボティックポジショニングセンサーにより提供される方位よりも劣るものでした。

## 補正されたポイントの機能強化

以下の機能が、補正されたポイントのために強化されました：

- 現場キャリブレーションで、補正されたポイントを使用できるようになりました。
- 磁力計キャリブレーション・ステータス記録が、キャリブレーション・タイプ(3Dキャリブレーションまたは2D線形)を表示するようになりました。チルト・キャリブレーション・ステータスフィールドの名前が、磁力計キャリブレーション・ステータスに変わりました。
- 受信機の傾きの方向が、垂直線上で1ミリメートル以内の場合を除き、ポイント記録内に保管されるようになりました。受信機が垂直線上で1ミリメートル内の傾きの場合、方位角値は保管されません。

## 衛星経由のRTX受信

Trimble Centerpoint™ RTX™受信契約が、衛星送信を経由して配信されるようになりました。RTX受信契約を購入されたユーザの方は、コントローラに直接、RTX受信契約を受け取ることができます。これを行うには、RTX測量を開始します。現在有効な受信契約が存在しないときは、Trimble Accessソフトウェアは自動的に、衛星経由で新しい受信契約のダウンロードを試みます。

衛星経由でRTX受信契約を受け取るには、R10受信機が、バージョン4.84以降の受信機ファームウェアのものでなければなりません。

さらに詳しい情報につきましては [www.trimble.com/positioning-services](http://www.trimble.com/positioning-services) をご参照下さい。

## RTXのリセット

RTX測量において、衛星プロット／リスト画面上のリセット・ボタンを押すと、RTX収束のほか、SV捕捉もリセットされます。RTXステータス画面上のリセットボタンを押すと、RTX収束はリセットされますが、衛星捕捉はリセットされません。

## 平面上でのポイントの測定

光学測量では、新しい平面上でポイントを測定する測定方法を使用し、平面を定義してから、その平面を基準としたポイントの位置を測定できます。

水平の平面や垂直の平面、傾いた平面を、ジョブ内のポイントを選択したり新しいポイントを測定したりして、定義できます。平面を定義した後、その平面に対する角度のみ測定を行うと、角度と距離と、計算された距離の観測とが、平面上に作成されます。もう一つの方法として、平面に対する角度と距離の測定を行うと、平面に対する鉛直方向のオフセットが計算されます。

ソフトウェアにより計算される平面の種類は、選択されたポイントの数に依存します：

ポイント 数：	平面のタイプ
1	水平
2	鉛直に2ポイントを通して
3	3ポイントを通して固定(未処理値なし)
4以上	未処理値ありの平面平面は、全ポイントを通る最適な(多くの場合傾いている)平面として作成された「フリー」な平面であることもあり、また、全ポイントを通る最適な鉛直平面に限定される「鉛直」平面であることもあります。自由 / 鉛直ソフトキーをタップし、2モード間を切り替えます。

詳細については、一般測量をご参照下さい。

測定画面にある平面上のポイントを測定する測定方法は、測量計算 / 計算ポイントスクリーンにあった旧鉛直平面と角度方法に取って代わるものです。

## Trimble VXスキャンポイントのエクスポート

一般測量で収集されたTrimble VXスペシャル・ステーションのスキャンデータを、CSVにエクスポートできるようになりました。データがまだデータ・コレクタ上にある段階で、このエクスポートを実行できます。これまでは、データをオフィス・ソフトウェアに転送し、そこからデータをエクスポートする必要がありました。

データをエクスポートするには、ジョブ / インポート/エクスポート / エクスポートの固定フォーマットを選択します。形式を「カンマ区切り」に設定します。ポイントを選択するリスト内で「スキャン・ファイル・ポイント」を選択してから、参照スキャン・ファイルのリストから対象に含めるスキャン・ファイルを選択します。



## オフセット方法を使用したステーションの再定義

「ステーション設定の再定義」を実行する際、オフセット法を使用できるようになりました。方法フィールド内で使用可になったオプションは:

- 角度と距離
- 平均化された観測
- 角度のみ
- 水平角のみ
- 角度オフセット
- 水平角オフセット
- 鉛直角オフセット
- 距離オフセット

## ポイント平均化されたF1 F2観測の杭打ち

F1とF2の両方の上でポイントが杭打ちされたときは、MTA記録(平均化されたF1 F2観測)が作成されるようになりました。

## 5600/3600への自動接続

5600および3600トータルステーションへの *自動接続* オプションは、Trimble Accessバージョン2013.40では、初期設定でオフになっていて、別のデバイスへの接続にかかる時間を縮めていました。お客様からの意見に基づき、このオプションが初期設定でオンにされるようになりました。5600または3600トータルステーションを使用しない場合、*自動接続*オプション画面でこのオプションをオフにできます。

この変更は、Trimble Accessを新たにインストールした場合のみ影響します。*自動接続*設定は、旧バージョンからのアップグレードを行った場合、保持されます。

## 3Dマップの機能強化

Trimble Tablet上で使用可の3Dマップに、以下の新たな機能が追加されました:

- 3Dモードでのスケールバー
- 鉛直方向の誇張スケールを手動で設定するオプション。

これまでは、3Dマップが自動的に、該当する鉛直方向の誇張スケールを選択し、マップ内の鉛直型の特徴を誇張して表示していました。これに対し、3Dマップは、初期設定で、データを誇張なしで表示するようになりました。マップ内で、水平スケールとの比較では、小さ過ぎて特定できないような鉛直型の特徴を誇張するには、オプションをタップしてから、*鉛直誇張*フィールドに数値を入力します。

## ジョブに関して利用可能なUTC時間／日付フォーマット

ジョブプロパティのユニット画面で、時間フォーマットフィールドから、UTC日付／時間を選択できるようになりました。

## 測地学的（真性）北方位角

測地学的詳細オプションがオンになっている場合、逆を計算するが、グリッド方位角のほかに、測地学的な前方および後方方位角を表示するようになりました。

## Wi-Fi経由で転送された画像をジョブフォルダ内に保管

初期設定で、Wi-Fi経由で転送される画像は、ジョブと同じフォルダ内に保管されるようになりました。これまでは、初期設定による保管場所は、ユーザーネームフォルダでした。

Wi-Fi経由で転送された画像用に別のフォルダを指定するには、設定 / 接続 / Wi-Fi画像転送を選択します。

## ポイントの保管画面内で使用可能なポイント名の検索

ポイントの保管画面で、検索機能が使えるようになりました。現在のGNSSポジションを保管する前に、次に使用可のポイント名を検索できます。

## Internet connection setup changes

When configuring a network connection as part of a GNSS contact you are now directed to *Internet Setup* on a TSC3, TSC2, Slate or GeoXR. In previous versions of the software you were directed to use the operating system, but using the wizard provided in the *Internet Setup* screen of the Trimble Access software is simpler to use. If you prefer, you can still select network connections previously configured in *Internet Setup* or in the operating system before configuring the GNSS contact.

The *Auto detect* feature in *Internet Setup* used on controllers with an internal modem has been removed, because this did not work with all service providers. Use the *Detect* button to automatically populate the network settings.

A default internal modem network connection on the TSC3, Slate or GeoXR is no longer created. A default Trimble Internet connection on the TSC2 is no longer created. These were removed as the defaults were not appropriate to all customers, and having default configurations could create issues. Use the *Internet Setup* wizard to recreate these as needed.

For controllers that are upgraded to Trimble Access version 2014.00, all existing connections are preserved. The above changes apply only when setting up new Internet connections.

## Internet connection setup changes for New Caledonia

ニューカレドニア向けモバイル・ネットワーク設定が更新されました。

## 座標系データベースの更新

- 以下のデータ定義が追加されました：
  - ARC 1960（ケニア）
  - ARC 1960（タンザニア）

- エストニア 1937
- インド (バングラデシュ)
- インド (インドおよびネパール)
- インド 1957 (タイ)
- インド 1960 (ベトナム6dN近く)
- インド 1960 (コンソン島)
- 韓国の測地 1995 (韓国)
- ミッドウェー・アストロ1961 (2003)
- 旧ハワイ 2000 (ハワイ)
- 旧ハワイ 2000 (カウアイ)
- 旧ハワイ 2000 (マウイ)
- 旧ハワイ 2000 (ミーン)
- 旧ハワイ 2000 (オアフ)
- OSGB 1936 (イングランド)
- カタール・ナショナル
- S-42 (アルバニア)
- S-42 (カザフスタン)
- S-42 (ラトビア)
- S-42 (ポーランド)
- S-42 (ルーマニア)
- シェラレオネ 1960
- SIRGAS
- ティムバライ 1948 (ブルネイ/マレーシア)
- 以下のデータ定義が更新されました：
  - グアム 1963
  - 東京 (韓国)
- カナダと韓国向けに、ジオイド・モデル・レファレンスが追加されました。
- 幾つかの古いフィンランドのゾーン定義が削除され、新しいフィンランドのジオイド・モデルが追加されました。

## 一般測定のヘルプの再編

一般測定ヘルプの「測定 - 従来型」と「測定 - GNSS」の両章が再編されました。各章は、「設定」と「測定」という2つの章に分割されました。内容は、『測定 - 一般』の章から、適宜、新しい章に移動されました。

新しい構成により、従来型またはGNSSのどちらかを使用しているユーザーにとって、必要な情報を見つけるのが、より簡単になっているはずです。また、測定を設定するのに必要な作業と、測定での測定の実施との区別を、より明確にしています。

## 解決された問題

- **ズームの範囲:**現在のジョブから遠く離れている可能性のあるGNSSポジションを、ズーム範囲が含んでいた問題が解決されました。ズーム範囲は、現在のGNSSポジションがGPS検索に使用されている場合のみ、それを含むようになりました。
- **ロシアのレイヤー名をDXF形式で:**DXFファイルがロシア語のレイヤー名を含んでいるときに、キリル文字がマップ内で正しく表示されない問題が解決されました。
- **横断面ビュー:**An issue where you could not view the cross section when staking an alignment with the cut/fill value displayed relative to a DTM is now resolved.
- **3Dマップ:**以下の問題が、3Dマップ用に解決されました:
  - **ズーム +オプションで必要以上に拡大される問題。**これは、ISOまたはトップの事前定義ビューを選択してから、ズーム +をタップした場合のみ問題となっていました。
  - **エンティティ同士が遠く離れているとき、周回を制御するのが困難になる問題。**前、後ろ、左または右の事前定義されたビューを選択し、かつズームインした場合のみ問題となっていました。
  - **マップに切り替えを戻した際、マップ内のラベルの色が変わってしまうことがあった問題。**
  - **線、弧または線形上の矢印が、ズームイン時に見えなくなることがある問題。**
  - **事前定義されたビューを選択した際、地形の下面が見えなくなる問題。**
  - **線形またはTrimble道路(\*.rxlファイル)が、3Dモードまたは2Dモードで正しく表示されない問題。**これは、垂直の線形が、水平の要素に沿って、途中で終わってしまう場合のみ問題となっていました。
- **タブレットへのケーブル接続:**USB/シリアル・アダプタ (P/N 91475-00)を使用し、シリアルポートでTrimble Tabletとハードウェア・デバイスとを通信させることができるようになりました。Trimble Accessバージョン2013.40では、USB/シリアル・アダプタを使用しようと試みると、タブレット上にドライバーがインストールされますが、作動はしません。また、タブレットにCirronet 無線機が備わっているとき、その無線機が作動しなくなる恐れがあります。
- **タブレット上のF1、F2、F3キー:**F1、F2またはF3キーを押しても、割り当てられた画面が表示されないことがある問題が、解決しました。これは、画面内にいるときに、ソフトキーを持つファンクション・キーの1つを押したときにだけ起こる問題でした。
- **タブレットからのTCCログイン:**Trimble Access内でログイン 画面からTCCにログインできない問題が、解決しました。タブレット上で内蔵SIMカードを使用して作成されたインターネット接続を使用しているときにだけ起こる問題でした。
- **測定コード:**測定コード 画面でコード・ボタンをタップしても、ポイントの測定が自動的に開始されない問題が、解決されました。これは、直前の測定から3秒以内に、次の測定を開始した場合にだけ生じる問題でした。
- **保管ポイント・アンテナ・フィールド:**「ポイントの保管」画面内において、アンテナ・アイコン上をタップして、アンテナ設定を編集してから、「ポイントの保管」画面に戻ったときに、「ポイントの保管画面」で、「アンテナの高さ」と「測定

先」の両フィールドが更新されない問題が、解決されました。これは表示のみの問題でした。ポイントは常に、更新されたアンテナ設定とともに保管されていました。

- 地形ポイント (GNSS測量) :以下の問題が解決されました:
  - リアルタイム測量中に地形ポイントを測定する際、精度の低いことを警告するメッセージが予期せず表示される問題。
  - GPS週ロールオーバー中に、時折、地形ポイント測定が動かなくなる問題。
- 補正されたポイント:以下の問題が解決されました:
  - eBubble表示が正しくないチルト制限を示す問題。この問題は、eBubble表示だけに関するものでした。チルト許容範囲に関するすべての警告は正しい状態でした。eBubble表示は、15度のチルト制限を正しく表示するようになりました。
  - 精度が利用できない旨のメッセージが表示され、かつポイントを保管するようにとのプロンプトに対してユーザが「ノー」の選択肢をタップしたにもかかわらず、ソフトウェアがポイントを保管していた問題。
  - 測量スタイルのためのローバ・オプションにより、補正されたポイントの使用が可能な場合、ソフトウェアが、測量スタイル内で、補正されたポイントの測定オプションを表示するようになりました。ロールオーバー・オプションでチルトが無効にされていたり、放送フォーマットが、RTXなど、補正されたポイントをサポートしないソースに設定されていたりする場合、補正されたポイントは、設定や測定の対象にはなりません。
- RTX:Trimble Centerpoint RTXサービスを使用する際に起きていた以下の問題が解決されました:
  - 地形ポイント、観測された基準点、ラピッドポイントのための精度許容値は、以前は手動で変更された後で、初期設定による設定に戻っていました。放送フォーマットが変更された場合にだけ、精度許容値が初期設定にリセットされるようになりました。
  - RTX測量中に「衛星の名前の修正」が、正しくない衛星PRNを表示していた問題。「衛星の名前の修正」フィールドが、衛星から受け取り次第、衛星名を表示するようになりました。
  - 受信契約が開始されていないため、RTX受信契約が無効である旨、エラー・メッセージが示さなかった問題。
- xFill受信契約:受信契約が開始されていないため、xFill受信契約が無効である旨、エラー・メッセージが示さなかった問題が、解決されました。
- GeoXRモデム:GeoXRモデムが2Gモードで使用された際、ソフトウェアがモデムの設定を3Gモードに戻せなかった問題は解決されました。
- 機器の設定:トータルステーションがUSB経由で接続されていないとき、不必要な「反面バックライトがありません」メッセージが表示されていた問題が、解決されました。メッセージが表示されなくなりました。
- 自動F1/F2ステーション設定:反面観測が測定される前に「ステーション設定が完了しました」のメッセージが表示されていた問題が、解決されました。

- Wi-Fi接続: 「接続」または「切断」ソフトキーが、「受信機Wi-Fi設定」画面に表示されないことがある問題が、解決されました。接続されているときのほか、受信機がネットワークに接続を行う過程にあるときにも、「接続」ソフトキーが、表示されるようになりました。
- Wi-Fi暗号キーの認証:暗号キーが検証されていなかった問題が、解決されました。これはクライアント・モードでのみ生じていた問題で、アクセス・ポイント・モードでは暗号キーが認証されていました。
- 英語以外のオペレーション・システムを使用するTrimbleタブレット上のBluetoothモデム:Trimbleタブレット上のBluetoothモデムフィールドが常に「なし」と表示していた問題が、解決しました。これは、英語以外のオペレーティング・システム上でTrimble Accessソフトウェアを作動させているときだけの問題でした。Bluetoothモデムを使用して接続を確立することはできていました。
- アプリケーションエラー:以下のいずれかを行ったときに、時折のアプリケーション・エラーが見ることがなくなりました:
  - 基準局受信機として機能する4700受信機に接続しようとする。
  - VRS™を使用して、補正されたポイントを測定し、それらのポイントをポジションとして保管してから、DCファイル内にそれらをエクスポートする。
  - Position the eBubble on the extreme left side of the screen.
  - 以下の場合に3Dマップを参照:
    - シェープファイル内の最初のポリゴンに穴がある。
    - シェープファイル内のポイントに、極めて大きな負の高さがある。
    - .dxfファイル内に負のライン重量が存在している。

## 道路

### 新しい特長

#### ワークフローの改善

以下のワークフロー上の改善がなされました:

- 道路を定義したり測量する際、前回に使用された道路が記憶されるようになりました。
- 定義・測量の両メニューを終了する際、道路の選択画面が表示されなくなりました。
- LandXML道路に関しては、「ファイルからのポジション」の杭打ちオプションが、測量メニューから削除されました。このメニュー・オプションは、Trimble Accessバージョン2013.10内で改善がなされたため、必要なくなりました。この改善により、TrimbleとLandXMLの両道路について、ポイントを道路定義に追加できるようになりました。この改善は、追加ポイントと呼ばれる道路コンポーネントとして、定義メニューに追加されました。以前は、ポジションは道路の一部ではなく、道路を杭

打ちする際、ファイルから選択されていました。 LandXML道路の場合、ポイントの追加など、定義に何らかの編集が行われたとき、RXLファイルとして道路が保存されま  
す。従って、追加ポイントとともにLandXML道路を杭打ちするには、追加ポイントを  
含むLandXMLファイルのRXLバージョンを選択します。不必要になった、LandXMLフ  
ァイルのための「ファイルからのポジション」杭打ちオプションが、事情により、こ  
の変更の時点では、削除されていませんでした。

## GENIO道路インターフェース改善点

GENIO道路を測量する際、以下の改善点がソフトウェアに加えられました：

- 道路上のポジションを測定する際、ユーザが道路上にいないとき、「オフ・ロード」の文字が赤色で表示されるようになりました。以前は、表示文字は黒でした。
- 「アンテナ／ターゲットの高さ」の詳細を定義する際、GENIO ファイル名と道路名が、表示されなくなりました。画面の最上部のバナー内に道路名が表示されるためです。
- アンテナ詳細を定義する際、アンテナ・タイプが表示されるようになりました。
- 選択および杭打ち両画面で、道路名は表示されなくなりました。道路名は、道路最上部のバナー内に表示されるためです。

## 解決された問題

- ステータス・バー:ステータス・バーが空白になっていた問題が、解決されました。これは、ワイドスクリーン・モードで、ステータス・バーを見るため横矢印をタップしてから、タップアンドホールド・メニューからワイドスクリーン・オプションを非選択にしたときにだけ生じる問題でした。
- 横断面ビュー:An issue where you could not view the cross section when staking a Road with the cut/fill value displayed relative to a DTM is now resolved.
- **ファイルからのポジションを杭打ちする:**ジョブ単位が米フィートまたは国際フィートだったときの、追加ポイントの表示に伴う問題が、解決しました。以前は、測量において、杭打ちオプションが「ファイルからのポジション」に設定されているとき、「ポジション」フィールド内のドロップダウン・リスト内のステーションおよびオフセット両値が、メートル法で表示されていました。これはあくまで、選択画面での表示だけの問題でした。値はメートル法の値で表示されていましたが、ポジションは正しく杭打ちされていました。
- **GENIO道路の路床**GENIO道路の路床を定義する際、複数の路床ポジションが計算されていた問題が、解決しました。以前は、ポジションが選択されていることを示す二重丸印が、中心線に最も近い、計算されたポジションについてのみ、表示されていました。
- **NSW三次放物線**An issue where the cross section positions along a NSW cubic parabola were being incorrectly computed is now resolved. Positions along the transition that were on the horizontal alignment were correct unless the transition was a compound parabola - that is, both the start and end radii values were not infinite. Computed positions for line and arc horizontal elements were

correct. The NSW cubic parabola is a special parabola used for rail projects in New South Wales, Australia.

- アプリケーションエラー: 「路床」オプションを使用して計算されたポジションにより、ストリングが定義されているケースで、「ストリングの杭打ちに沿って」オプションにより GENIO 道路を杭打ちしようと試みた際、時折表示されていたアプリケーションエラーは、表示されなくなったはずです。

## トンネル

### 新しい特長

#### 線形アイコンからのピボット・ポジション・オフセット

When applying rotation, where the pivot position has been offset from the alignment, an icon now indicates the offset position. 以下のときに、アイコンが表示されます:

- トンネル定義を確認している
- トンネルを測量している
- 測量済みのトンネルを確認している

#### 手動で測定されたポジションからトンネル・プロファイルまでの線

自動スキャンの際、ポジションを手動で測定する場合、ポイントが保管される時点で、測定されたポジションからトンネル・プロファイルまで、赤い線が引かれるようになりました。以前は、自動でスキャンされたポジションを対象として、または手動で測定されたポイントが再度選択されたときにだけ、線が引かれていました。

自動スキャンを実行してから、手動でポジションを測定してある場合、左/右の矢印を押すことにより、画面底部の詳細が、現在選択されている測量ポイントの詳細に更新されるようになりました。以前は、表示される詳細が、前回測定された手動ポイントに固定されていました。

#### ワークフローの改善

以下のワークフロー上の改善がなされています:

- トンネルを定義したり測量したり確認したりするとき、前回使用されたトンネルが記憶されるようになりました。
- 「定義・測量・確認」メニューを出るとき、トンネルの選択画面が表示されなくなりました。

#### 測定モードを変更する際、ズーム・スケールが維持される

自動スキャンから手動スキャンに変更するとき、ズーム・スケールが維持されるようになりました。以前は、常に表示範囲に合わせてズームしていました。



## 解決された問題

- 測量横断面ビュー:測量横断面ビュー内のアイコンのレイアウトが改善され、ステーション値とコードが不明瞭だった問題が、解決されました。
- NSW三次放物線An issue where the cross section positions along a NSW cubic parabola were being incorrectly computed is now resolved.Positions along the transition that were on the horizontal alignment were correct unless the transition was a compound parabola - that is, both the start and end radii values were not infinite.Computed positions for line and arc horizontal elements were correct.The NSW cubic parabola is a special parabola used for rail projects in New South Wales, Australia.
- Status bar:ステータスバーに空白になっていた問題が、解決されました。これは、ワイドスクリーンモードのとき、横の矢印をタップして、ステータスバーを表示させてから、タップアンドホールドメニューからワイドスクリーンオプションを非選択にした場合にだけ生じる問題でした。

## 採掘鋤

### 解決された問題

- ピボット・ポイント:中心線からピボットポイントおよびレーザラインを自動杭打ちする際、画面上に表示されるプロンプトが改善されました。

## モニター中

### 解決された問題

- ステーションとポイント:高さの測定方法を変更しても効果がないときがあった問題が、解決されました。
- ステーション・グリッド座標:ステーション・グリッド座標が変わらない問題が、解決されました。この問題は、既存の測量ジョブの中で、ステーション設定方法を「既知のポイント」から「交会法」に、または「交会法」から「既知のポイント」に変更したときに生じていました。

# Trimble Access Installation Manager

## 新しい特長

- Trimble Access Installation Manager オンラインバージョンには 追加のアプリケーション タブが加わりました。

Support for unassigned Trimble Access licenses enables Trimble Access software to be purchased without the controller serial number, which can speed up the purchasing process when a serial number is not yet known. If you have purchased additional software licenses, your Trimble distributor will assign them to your Trimble Central Authentication Service account, then you can use the *Unassigned licenses* tab to assign a software license to the connected controller.

To assign a license, click *Log in* and then log in using your Trimble Central Authentication Service login details. Once you have logged in, the *Unassigned licenses* tab shows a list of available licenses that can be assigned to the connected controller. Select the license(s) and then click *Assign license*. Click *OK* and then click *Install*.

更に詳しい情報には、お近くのTrimble製品取扱店にお問い合わせください

- Each tab of the Trimble Access Installation Manager window now includes the *Trimble Store* button. Click *Trimble Store* to open your browser window and visit the online Trimble Store. Visit the Trimble Store to purchase additional software for your existing Trimble Access controller.

## ソフトウェアとハードウェアの必要条件

Trimble Access ソフトウェア バージョン 2014.00 は、以下にあるソフトウェアとハードウェア製品との通信に最適です。このソフトウェアは以下のバージョン以降のソフトウェアとも通信することができます。

Trimble ソフトウェア	バージョン
Trimble Business Center (32-bit)	2.95
Trimble Business Center (64-bit)	3.10

Trimble 受信機	バージョン
Trimble R10	4.84
Trimble R8-3, R8-4	4.84
Trimble R6-4, R6-3	4.84
Trimble R4-3, R4-2	4.84
Trimble R7 GNSS	4.84
Trimble R5	4.84
Trimble NetR9	4.84
Trimble GeoXR	4.55
Trimble R8-2, R6-2, R4-1	4.63
5800 II	4.63
5700 II	4.63

Trimble 機器	バージョン
Trimble V10イメージングロー バー	E0.2.61
Trimble VX™ Spatial Station	R12.4.17
Trimble S8トータルステーション	R12.4.17
Trimble S6トータルステーション	R12.4.17
Trimble S3トータルステーション	M2.1.31
Trimble M3トータルステーション	1.30 2.10

最新のソフトウェアとファームウェアのバージョンについては、下記もご参照ください。

<http://trl.trimble.com/dscgi/ds.py/Get/File-93082/Survey%20Software%20and%20Firmware.pdf>.

## 対応するコントローラのオペレーティングシステム

Microsoft Windows Mobile Version 6.5 Professionalを搭載したTrimble TSC3コントローラは、Trimble Accessソフトウェア バージョン1.8.0から2011.10を実行することができます。

Microsoft Windows Mobile Embedded Handheld 6.5を搭載したTrimble TSC3コントローラには、Trimble Accessバージョン2012.00以降が必要です。